

次世代情報家電ネットワークについて

2004年12月17日

情報通信ネットワーク産業協会

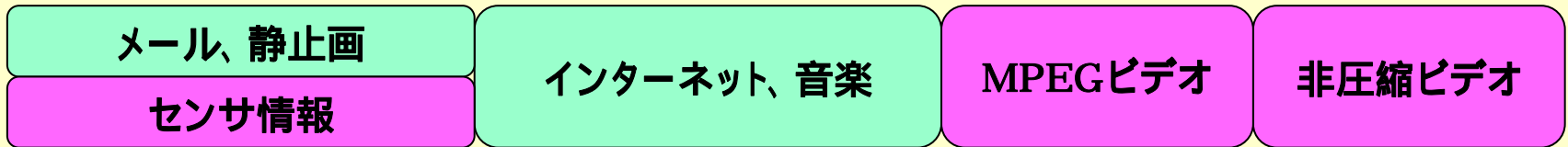
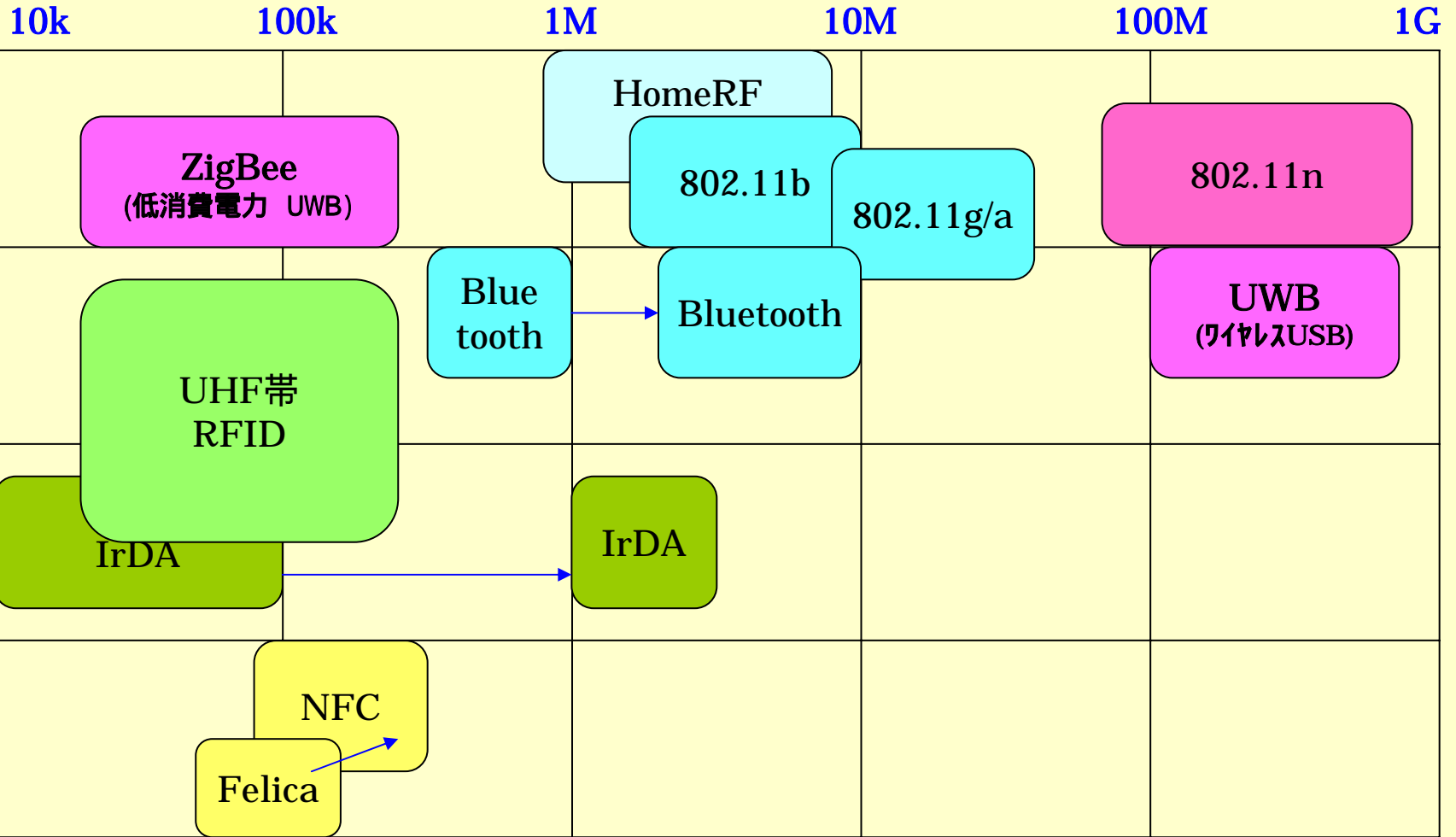
次世代情報家電ネットワークタスクフォース

座長 桂 靖雄

無線技術(距離・速度)と用途の拡大

伝送レート(bps)

距離



次世代情報家電ネットワークタスクフォースについて

目的

次世代情報家電ネットワークにおける電波の利活用イメージについて、その利用シーン、国際的整合性の観点から総合的に検討する

具体的検討項目

利用シーンごとのネットワーク案の作成(有線、無線含む)
無線アクセスシステムでのAVストリーミングを流すときの
QoS確保の検討
情報家電ネットワーク関連の各種団体、協議会活動の
俯瞰図の作成
その他、必要項目

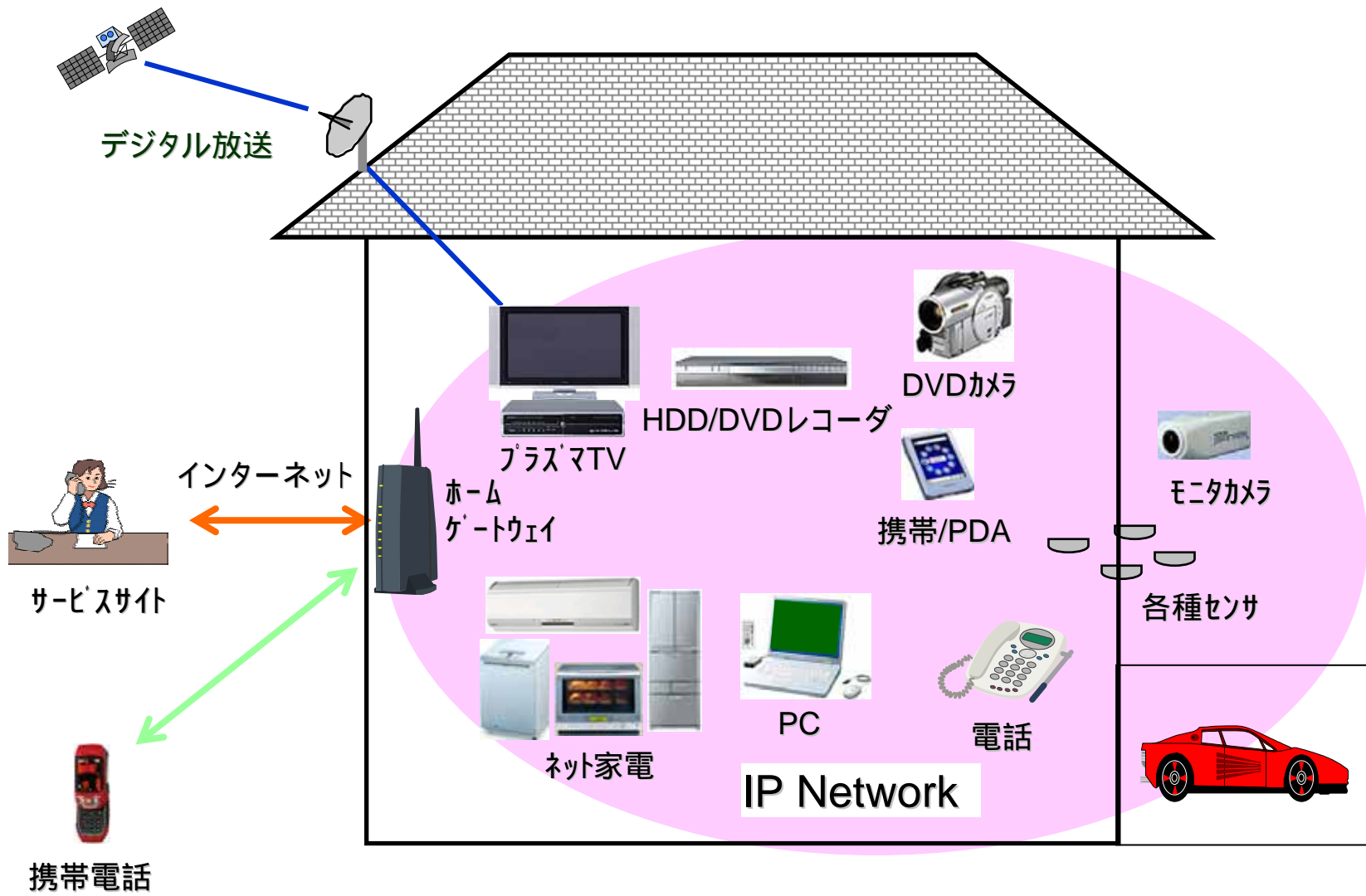
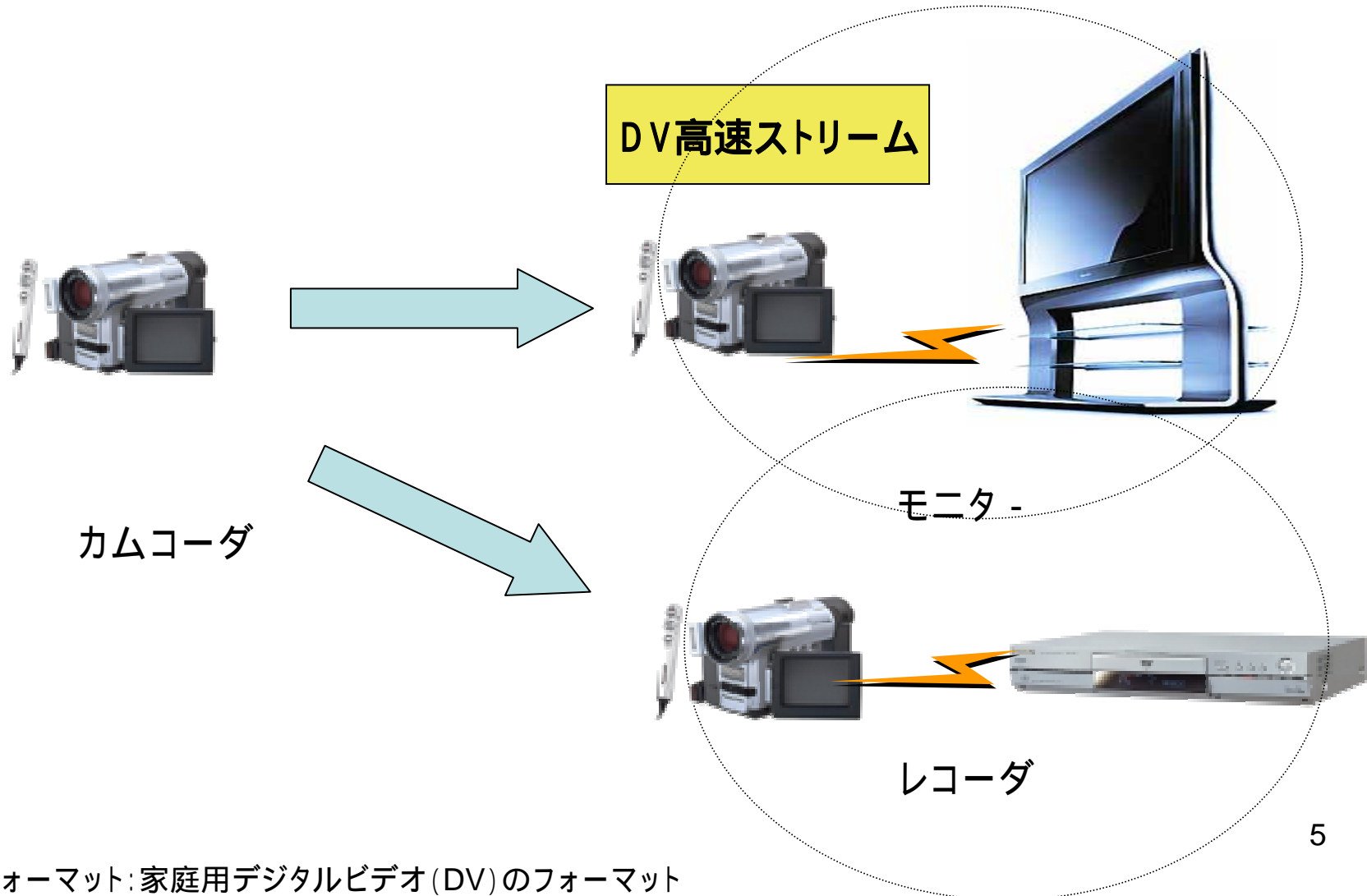


図 ホームネットワーク構成要素

利用シーン 例1 近接 携帯AV機器との無線接続



利用シーン 例2 近接 AVラック内の機器間の無線接続

HD/SD 中高速ストリーム

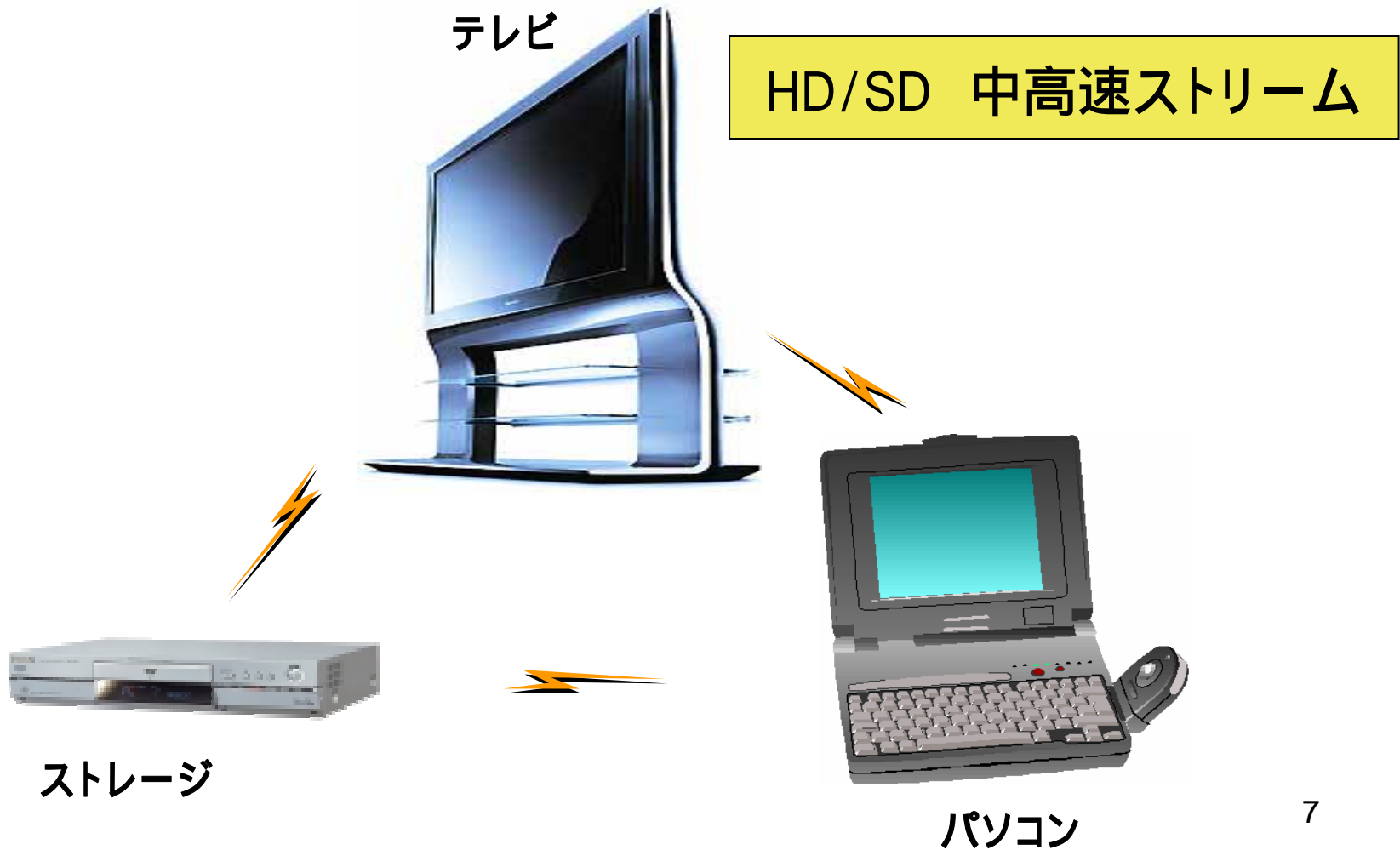


裏配線の
ワイヤレス化

HD:ハイディフニション
SD:スタンダードディフニション

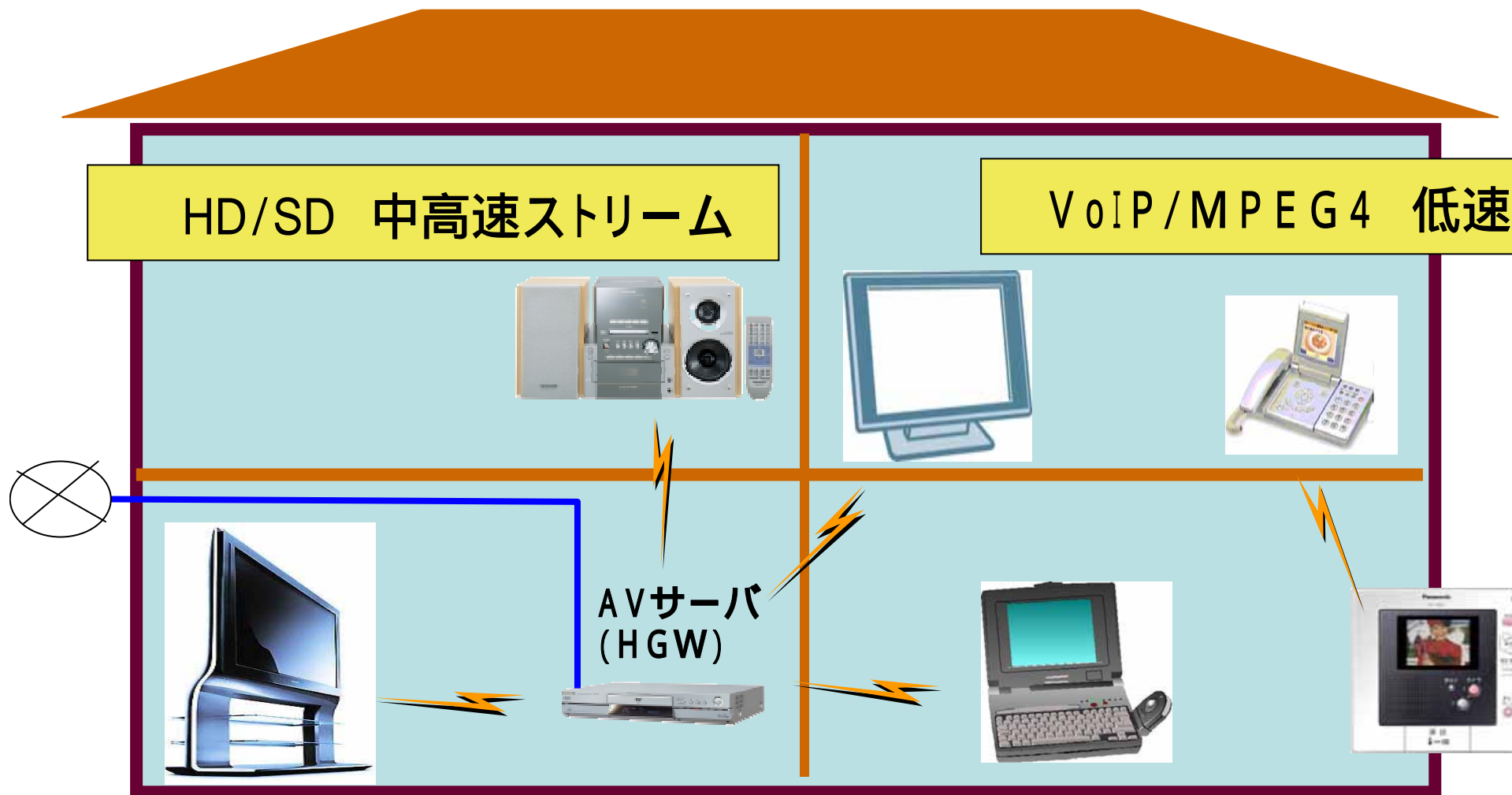
利用シーン 例3 室内

室内のデジタル家電機器間の無線接続



利用シーン 例4 宅内

AVサーバ等からのAVストリーミング配信
VoIP等低速ストリームの双方向通信



今後ブロードバンド、ユビキタス社会、情報家電が進展する過程で、きわめて革新的な利活用の場面やサービスがでてくることを予想。

業界として魅力あるサービスについての新たなビジョンを確立することが必要。

現在のところ、既存の無線システムだけでは今後のサービスをすべて網羅できるとは限らないし占有波を使うことも否定できない。

CIAJとして「次世代情報家電ネットワーク」タスクフォースを発足。
メンバー：ベンダー10社、オブザーバ：2団体 事務局：CIAJ事務局
期間：1年程度 04年11月スタート
05年4月頃中間まとめ、10月頃最終結論